

TOTO

化粧鏡(樹脂製)

三面鏡 LMLA075G3GL~LMLA120G3GL型 スウィング三面鏡 LMLA075G3SL~LMLA120G3SL型 バックパネル LPLA075CM~LPLA120CM型

商品の機能が十分に発揮されるように、この説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1) 安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。
 - この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
- 使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。		! は、必ず実行していただく「強制」内容です。
--	----------------------	--	-------------------------

警告

- **浴室など湿気の多い場所へ設置しない**
漏電により感電するおそれがあります。
- **電源コードを傷つけない**
漏電および火災の原因になります。
- **コンセントは化粧鏡の裏面には設置しない**
化粧鏡が落下する原因になります。また、トラッキングによる火災の原因になります。

禁止

警告

- **電源はAC100Vを使用する**
AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。
- **鏡固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する**
化粧鏡が落下し、けがをするおそれがあります。
- **水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者・指定業者」が行う**
火災や感電および水漏れの原因になります。
- **電源コードを傷つけないようにコード取出用切欠部より取り出す**
電源コードを傷つけたり、壁との間に挟み込むと発熱や発火の原因になります。電源コードを壁との間に挟み込むと商品にゆがみが発生し、扉のゆがみなど、商品に悪影響を及ぼす原因になります。
- **取り付け後、全てのねじが確実に固定されていることを確認する**
商品が落下しけがをするおそれがあります。

必ず実行

注意

- **現場でパネルを加工しない**
- **パネルをカウンターや壁などにぶつけない**
パネルが破損し、けがをするおそれがあります。
- **取り付け完了後、化粧鏡の固定・鏡扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する**
使用中に化粧鏡・鏡扉が落下してけがをするおそれがあります。
- **照明カバーは確実に取り付ける**
落下してけがをするおそれがあります。

禁止

必ず実行

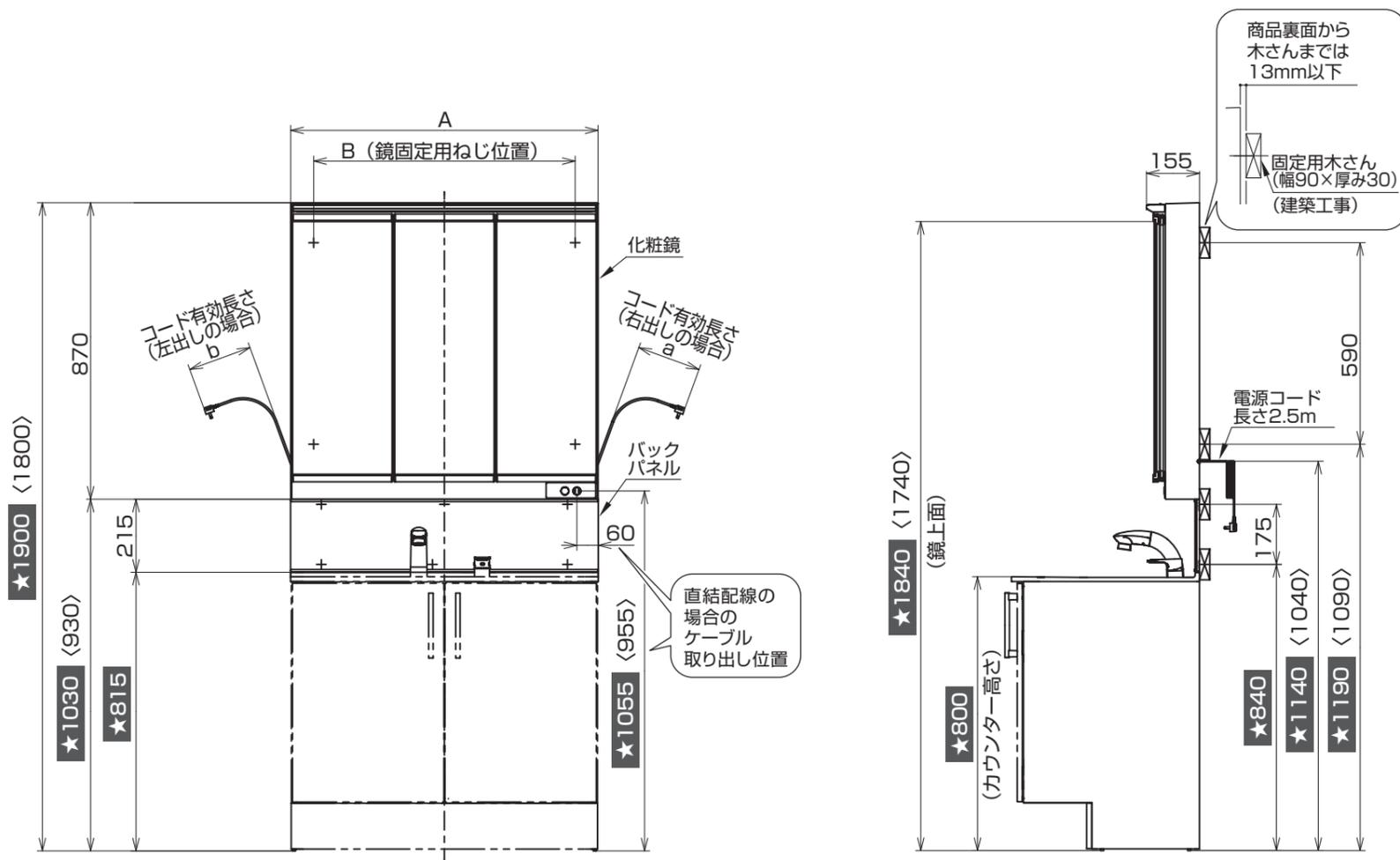
2) 設置寸法

- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- 電源コードは、上部からの取り出しもできます。
- < >寸法は高さ1800mmの場合です。
- 高さ1800mmの場合、バックパネルは設置できません。

※本図はLMLA090G3SL型を示します。
その他の機種は外観形状が若干異なります。

A (間口サイズ)	B	a	b
750	615	2500	1820
900	765		1670
1000	865		1570
1200	1065		1370

★印の寸法は、カウンター高さ800の場合です。
(750の場合は★印の寸法に-50してください。)



3) 付属部品明細

三面鏡 | スウィング三面鏡

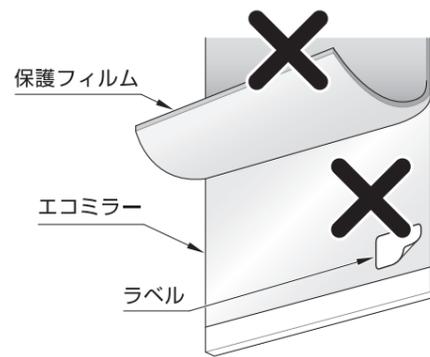
名称	数量
鏡固定用ねじ (φ4.5×50)	4本
化粧キャップ	4個

バックパネル

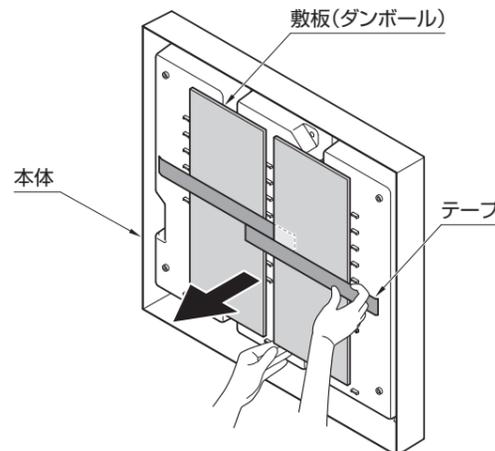
名称	数量
バックパネル	1枚
上フレーム	1本
下フレーム (クッション付き)	1本
壁固定用ねじ (φ4.5×50)	750:4本 900:6本 1000:8本 1200:8本
サイドクッション	2本

4) 設置上の注意

- 鏡の取り出し、取り付けなどは必ず2人で作業してください。
- 鏡、バックパネルを置く場合は、床に必ず緩衝材(ダンボール等)を敷いてください。
- ご使用前に傷が付くおそれがあるため、エコミラーの保護フィルムとラベルは、はがさないでください。(LMLA*****C型)



- 本体裏面に敷板(ダンボール)がある場合、必ず敷板(ダンボール)を取り外してください。



- バックパネルの持ち運びの際は十分ご注意ください。
- 現場でバックパネルの加工をしないでください。バックパネルが破損したり腐食の原因になります。

5) 取り付け条件

- 化粧鏡を取り付ける設置壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。
- 三方壁に設置する場合は、商品間口に対して5mm以上のクリアランスを確保してください。更に、ドア枠、額縁、幅木のチリを考慮してから壁仕上げ寸法を決めてください。

警告

- 化粧鏡は必ず壁に設する(窓の前などに設置できません。)
- 化粧鏡の壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れる
- 木さんを使用せず、下地材を合板とする場合は、設置壁の全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付ける(建築工事)

- 必ず実行: コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじにあったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込む
- プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備する
※プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。

商品が落下し、けがをするおそれがあります。

電気工事

【化粧鏡を直結配線にする場合】

- あらかじめ電気工事業者様にお願いして右図のように電源ケーブルを取り出しておいてください。

※取り出し位置は設置寸法を参照してください。



警告

- 禁止: 電源コードを切断して、電源ケーブル(VVF)と直接つながない
発火・火災の原因になります。

- 必ず実行: 配線する工事は、関連する法令・規定に従って、必ず電気工事士の「有資格者」が行う
正しい作業を行わないと、ショート・感電・火災の原因になります。

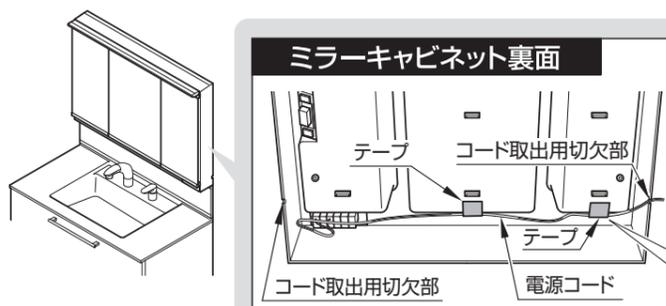
6) 取り付け前確認 (重要)

..... 取り付け前にお読みください

重要①

電源コードに注意する

裏面で電源コードがたるまないようにしてください。



電源コードを上側又は左側から取り出す場合は電源コードの挟み込みが無いように、テープで固定してください。

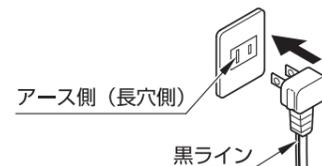
重要②

取り付け壁面がゆがんでいる場合は、ライナー(現場調達)を入れて調節しながらねじ込んでください。

重要③

コンセントは

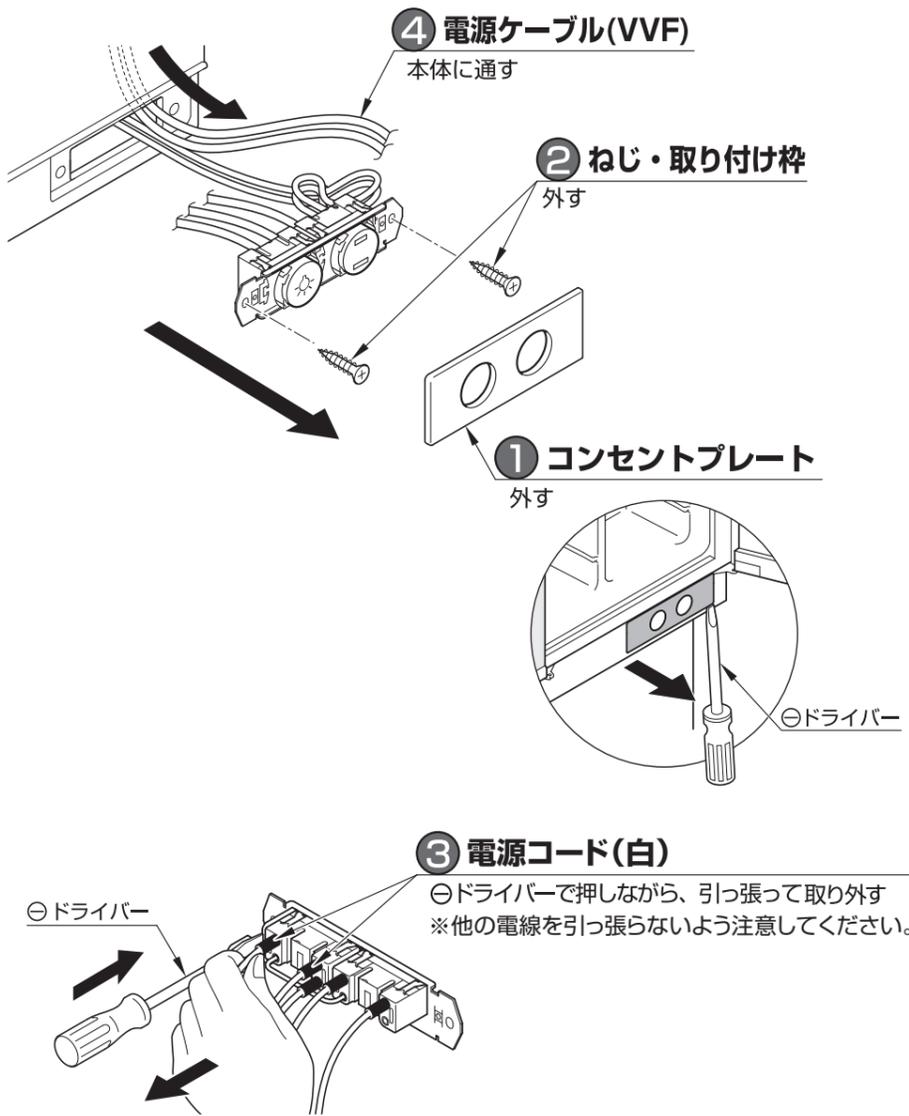
プラグ差し込み方向によってはコンセントの極性が逆になりますので、電源コードの黒いラインが入っている側をコンセントのアース側(長穴側)に接続してください。



7) 取り付け手順 (番号順に取り付けてください。)

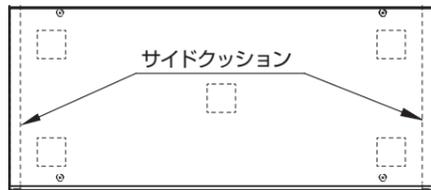
直結配線の場合 (化粧鏡取り付け前)

※鏡設置前に電源コードを外して、設置時に電源ケーブルをコンセント部から取り出してください。



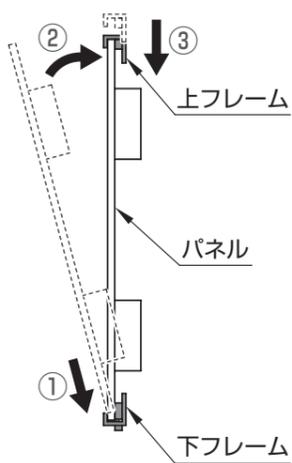
4 サイドクッション貼り付け

鏡裏面にサイドクッションを貼り付ける



5 バックパネルの取り付け

- 1 パネルを下フレームに差し込む
- 2 パネルを壁側に起こす
- 3 上フレームを下に下げてパネルに差し込む



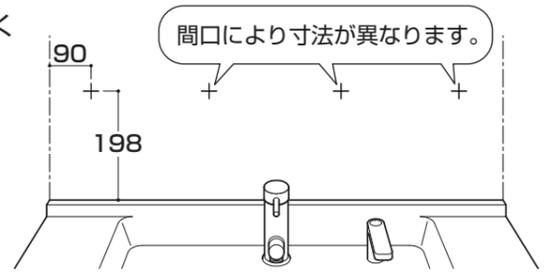
6 取り付け後の確認

鏡とフレーム手前のすき間が大きい場合は、壁とフレームの間にライナー(現場調達)を入れて調整する

バックパネル

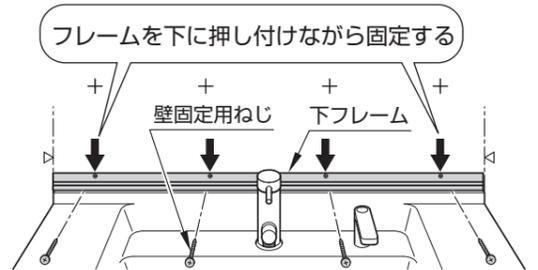
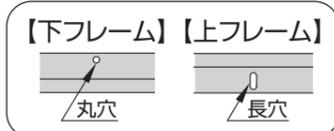
1 取り付け位置をけがく

上フレームを配置して位置をけがく
けがいた取り付け位置に
下穴(φ3)をあける



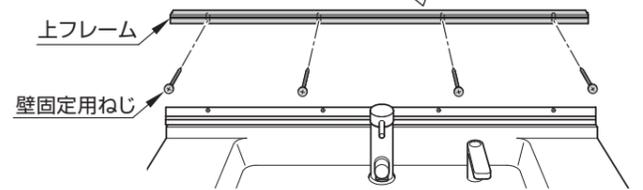
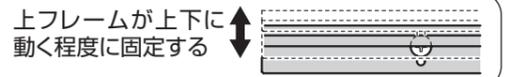
2 下フレーム固定 参照 重要②

下フレームをカウンターの立ち上がりに合わせて、片側の端から順番に
壁固定用ねじで固定する
※間口により本数が異なります。



3 上フレーム固定

上フレームをけがきにに合わせて、外側から壁固定用ねじで固定する
※間口により本数が異なります。



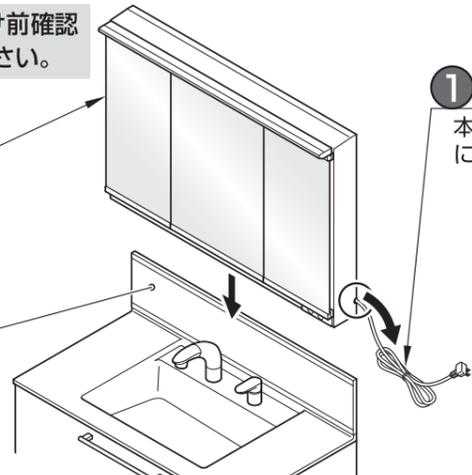
三面鏡 スウィング三面鏡

※「参照」は、「6) 取り付け前確認 (重要)」をご確認ください。

2 三面鏡本体

下部をバックパネルの上
にのせて化粧台との左
右のチリを合わせる

バックパネル



1 電源コード

本体横の溝から確実に
外に出す

参照 重要①

3 袖鏡

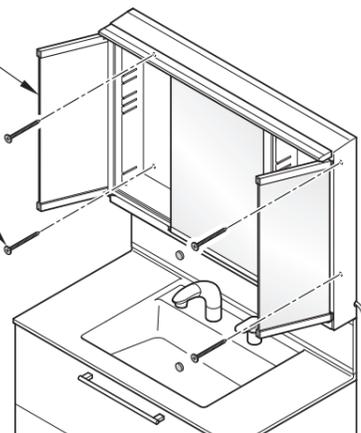
開く

4 鏡固定用ねじ

4本
所定の位置に固定
参照 重要②

5 化粧キャップ

4個
取り付ける



6 電源プラグ

電源コードの結束帯
を取り、コンセント
に接続する

参照 重要③

警告

電源コードを束ねたままにしない
電源コードが発熱して火災の原因になります。

禁止

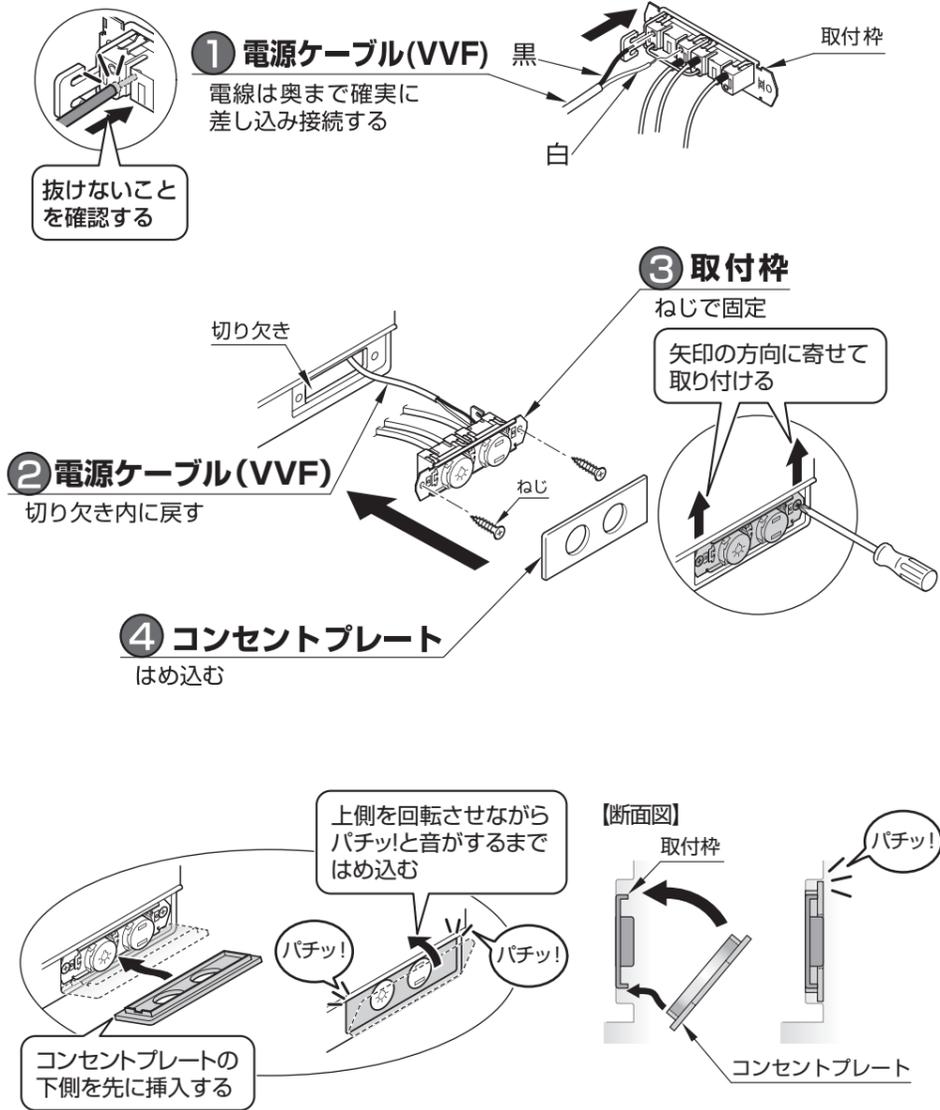
電源コードは必ず切り欠き部から出す
電源コードを本体と壁の間に挟み込むと発熱・火災の原因になります。

必ず実行

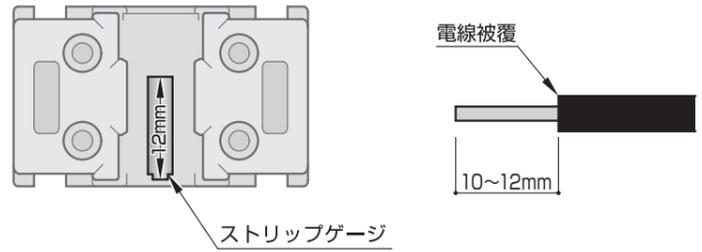
取り付け後、全てのねじが確実に固定されていることを確認する
商品が落下してけがをすおそれがあります。

※収納トレイの取り外しが必要な場合は、本体貼り付けの「トレイ着脱方法」をご確認ください。

直結配線の場合(化粧鏡取り付け後)



●電源ケーブル(VVF)の電線被覆をむく長さはコンセントのストリップゲージにあわせてください。



警告

! 配線する工事は、関連する法令・規定に従って、必ず電気工事士の「有資格者」が行う
必ず実行 正しい作業を行わないと、ショート・感電・火災の原因になります。

8) 取り付け完了後の確認と清掃

- ☑ **確認1** 商品が壁に確実に固定されていますか?
- ☑ **確認2** 照明が点灯しますか?
- ☑ **確認3** **トレイが確実にセットされていることを確認してください**
トレイが確実に装着されていない場合、鏡扉が閉じません。



- ☑ **確認4** **鏡扉が確実に閉まりますか?**
閉まらない場合・・・下図のように上下のマグネットキャッチの高さを調整してください。



- ☑ **確認5** **コンセントは通電していますか?**
通電することを確認してください。

- ☑ **清掃** **汚れは付いていませんか?**
(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)
① めれた布をかたくしぼってふき取る
② 次に、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げる
③ 仕上げに、からぶきをする

重要

有機溶剤(シンナー・アセトンなど)の使用は表面の変色・変質の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

- ☑ **その他** **直射日光にさらされていませんか?**
直射日光にさらされる場合・・・必ずカーテンなどで遮ってください。